

STEP—UP

令和5年度 第1号 9月
大田区立幼児教育センター
幼児教育担当 TEL(5744)1618

今年はコロナが5類に移行して規制もなくなり、御家族と様々な経験、体験をすることができた夏休みになったことと思います。幼児教育センターの研修も人数制限もなくなりより多くの方に参加していただけるようになりました。今号は第2回・第3回の幼稚園教諭・保育士合同研修会についてお伝えします。

第2回 幼稚園教諭・保育士合同研修会 (6月7日 池上会館 72名参加)
テーマ「私の中の自然 あなたの中の自然」～ 幼児期の自然とふれあい～
社会福祉法人東香会しぜんの国保育園 small village 園長 齋藤美和先生

しぜんの国からのメッセージ・・・(しぜんの国保育園のわたしたちの保育より)

人と人との関係性がどれだけ自然でいられるか。大人同士、子ども同士の関係性は感情や気持ちが動くので密になりやすい。やわらかで真摯な言葉の交わり合える、風の通る場所を目指す。お互いに風を通さないと気持ちが澱んでしまう。園庭が広い、山があるのではなく人と人が自然に関わることが大事。

自然を考えていく

私たち、保育者や保護者が一瞬の出来事を覚えていて言葉にして語っていくことにより、子どもたちの懐かしさが増えていく。心の中にある情景を傍らで感じ、ささやかな自然に気付いていけるようにしたい。身近な自然に気付いていけるかが大事。様々な環境の中で何が自然なのか向き合い、話し合っていく。自然の中にいることで安心してしまっはいけない。環境があっても生かさなければいけない。

子どものためではなく子どもと一緒に「自然」に暮らすこと。

「自然のとびら」

1歩踏み出して
近づく見える、
ささやかで美しい自然。
大切なのは、
立ち止まり、気づくこと。

イギリスの絵本より

子どもは何処でも遊び場にしてしまう。登場人物、背景が生まれる。私たちから人、環境に出会って、思いがけないことを大人も面白い。予定が変わること、思い通りにならないことを面白がって笑い合えるように余白を持って過ごせることが大事。子どもと大人が自然に関わるコミュニティーの形成、子どもと大人が暮らすことで、お互い一緒に影響され自然な状態になっていく。

子どもの目線に合わせていく。いつもと違う景色が見える。何を見ているのかが見えてくる。危険が見える。成長を感じる。街歩きで子どもが面白いと思ったものを一緒に感じる。街歩きで出会う面白さを大切にしたい。



街歩きの中で学校の様子を見たり消火器の場所を調査したり発見が沢山

forではなく with・・・子どもと大人が自然に関わるコミュニティー

仲の良い保育士集団をつくるのではなく、仲の強い保育士集団をつくる。それぞれの気持ちを記録などに残し、分かち合いながら、セッションを大事にしていく。話した言葉で場や経験を重ね、コミュニティーに影響を与える。影響し合って「幸せ」と感じることを一緒に見つけていく。

研修生の感想

- ・子どもも、大人も保護者も一緒に人生が磨かれていくということへの難しさを感じつつ、それに向かってセッションしたり風通しを良くしたりしていく方法を学ぶことが出来た。
- ・自然というテーマだったが、人間関係を含む自然という視点が目からウロコだった。今の子どもたちに「自分自身が子ども時代に触れた自然の思い出」のようなものを与えられると良いと思った。